

1 背景・目的

市では、中心市街地活性化プラン（平成24年度～令和2年度）に基づく取組をはじめ、市内における世界的なスポーツイベントの開催や、トリエ京王調布やイオンシネマシアタス調布の開業を好機と捉え、多様な主体と連携して、調布駅を中心とした地域経済活性化に取り組んできました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行以降は、中小企業事業資金融資あっせん事業の拡充をはじめ、市内消費喚起策や感染予防対策への補助など、感染症の影響を受ける事業者支援につながる取組について、商工会と連携しながら、機動的に対応し、地域経済の再活性化に努めてきました。また、感染症対策を徹底し、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」などの地域資源を活用した観光施策に取り組んできました。

⇒こうして推進してきた各種取組について、コロナ後の社会潮流を捉えつつ、調布市基本計画（以下「基本計画」とする。）を踏まえたうえで、体系的に整理し、各施策の推進による「集客」「回遊」「消費」の循環の生成をテーマに、総合的な産業振興につなげるための（仮称）調布市産業振興プラン（以下「プラン」という。）を策定します。

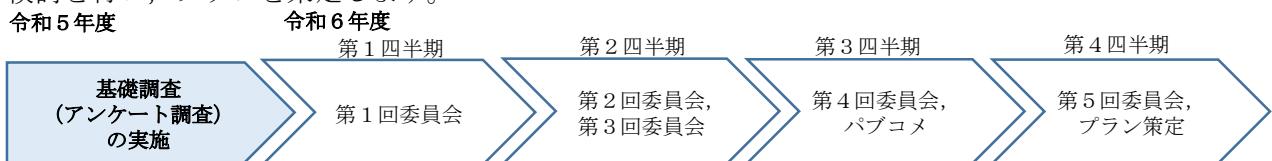
2 市におけるこれまでの産業振興に向けた取組

商工業振興	○調布市商工会への支援 ○商店街買物環境整備等の支援（イベント、街路灯電気料金、施設整備に係るもの） ○イオンシネマ シアタス調布の開業を契機とした映画チケットの半券サービス事業 ○世界的なスポーツ大会の開催を契機として、市内事業者が作成した製品等のPR
観光振興	○古刹・深大寺を核とするイベントや神代植物公園主催の各種イベントの開催を支援 ○「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」や「ゲゲゲ忌」をはじめとする「水木マンガの生まれた街 調布」の推進 ○映画・ドラマ等ロケ支援（フィルムコミッション事業）、ロケツーリズムの推進、映画・映像関連企業との連携した取組などの「映画のまち調布」の推進 ○調布花火の開催 ○FC東京をはじめ、プロスポーツチーム等と連携した地域活性化事業の展開 ○多言語による観光マップや無料公衆無線LAN（Wi-Fi）の環境整備
事業者支援	○新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けた事業者への支援（商工会との連携による感染予防対策支援事業、消費喚起策（プレミアム付商品券事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業）、物価高騰支援事業の実施） ○中小企業事業資金融資あっせん事業や金融機関と連携した中小企業支援事業の実施 ○創業等相談、テーマ別個別相談、融資個別相談、セミナー・講演会の実施 ○スモールオフィス（産業労働支援センター内）での創業支援や商店街の空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業の実施
雇用・就労の支援	○ハローワーク府中との連携による調布国領しごと情報広場の運営参画、マザーズコーナーにおける就労支援、地域若者サポートステーション事業の支援 ○高齢者の働く機会の確保や、障害者の雇用促進に関する支援制度、ちょうふ就職サポート等との連携による生活保護受給者の自立支援

3 スケジュール（予定）

令和5年度は、市民の購買行動やニーズ、事業者の経営状況や行政に求める支援策、来街者の実態や意向等を把握するため、市民・市内事業者・来街者への基礎調査（アンケート調査）を実施しました。

令和6年度は、学識経験者、観光・商業支援団体関係者、創業・就労支援団体関係者、市内交通事業関係者、市内金融機関関係者及び公募市民で構成された策定検討委員会にて、必要な事項の調査・検討を行い、プランを策定します。



4 プランの構成案

1 序章

プランの位置付け・目的等を記載

3 現状・課題

市内事業者の実態

令和2・3年度の事業所経営実態調査や令和5年度の基礎調査の結果のほか、地域経済対策会議、産業労働支援センターでの経営相談等におけるヒアリング内容により、現状・課題を把握

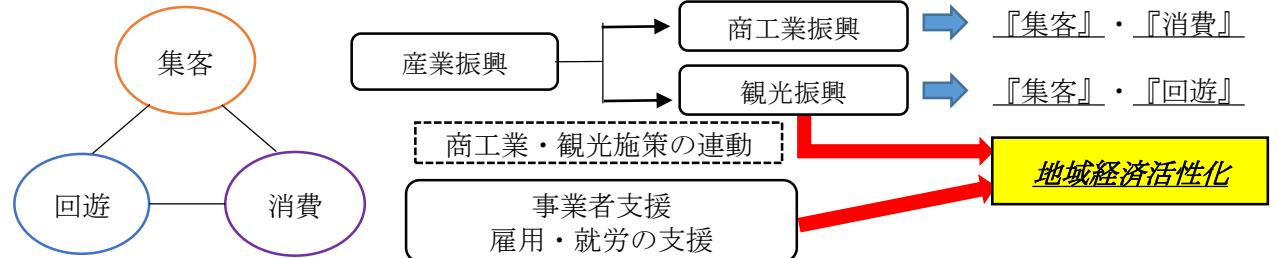
2 これまでの取組

これまでの取組を体系的に整理して記載

消費行動の分析

令和5年度の基礎調査において、産業振興に特化した内容で市民の意見を聴取することで、地域経済活性化に向けた現状・課題を抽出

4 地域経済活性化に向けた取組の基本的な考え方



5 今後の取組指針について

商工業振興	○商工会、商店会の支援 ○商店街の環境整備支援 など	集客・消費
観光振興	○多様な主体との連携による地域資源を活用したにぎわいの創出 など ○調布市観光協会の運営支援 ○調布の魅力発信 など	集客・回遊
事業者支援	○中小企業・小規模事業者への支援（経営面、技術面、販路拡大、事業承継など） など ○創業の促進、創業者に対する支援 など	集客 回遊 消費 の循環を 下支え
雇用・就労の支援	○若者や子育てしながら働きたい方、高齢者、障害者、低所得者等の就労支援（庁内横断的な連携・関係機関との連携）など	

5 プランの分類

プランは、調布市基本構想（以下「基本構想」という。）及び基本計画の内容を踏まえたうえで、**産業振興における市の基本的な考え方を定め、急速に変化する社会潮流を捉えつつ、市の実情に即した産業振興施策を推進していくための指針**とします。そのため、各自治体の計画策定で見られるビジョンタイプ・プランタイプのうち、**ビジョンタイプとしての策定検討を行います。**

ビジョンタイプ（目黒区、東村山市など）	プランタイプ（世田谷区、府中市など）
<ul style="list-style-type: none"> 取組の方向性や指針を定めるもの 計画期間は長期（10年程度）にする場合や、必要に応じて改定する場合が多い 通常は、成果指標（数値指標）を定めない 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組や目標を設定するもの 計画期間を定めている（4～8年程度） 指標があり、振返りはしやすいが、施策に連動した効果的な成果指標を定める必要がある

6 プランの計画期間・成果指標

本プランは、現行の基本構想（令和5年度から令和12年度まで）の期間を踏まえ、**計画期間を令和7年度から令和13年度までの7年間**とします。改定時期は、原則として、新たな基本構想の初年度とし、基本構想や基本計画の内容を踏まえたうえで、内容の検討を行います。したがって、プランの期間は、基本構想の年数に合わせます。

また、ビジョンタイプで策定を検討しており、施策については、原則として、基本計画（施策10, 17, 19）に基づき推進することから、成果指標については、基本計画におけるまちづくり指標に基づくこととし、本プランにおいては**成果指標を定めません**こととします。